

鹿児島市(鹿児島県)ほか:かごしま共通乗車カード「Rapica」&「いわさき IC カード」 5 事業者連携による IC カード共通乗車券(バス、路面電車、旅客船)

人口	604,367 人	モード	乗継改善・ 複数モード
面積	546.95 km ²	法令	—
人口 密度	1,104.98 人/km ²	運営 主体	鹿児島市交通 局、いわさきバ スネットワーク等



■ 取組の背景

地域と交通の状況

【乗客の利便性向上の必要性】

- 鹿児島市は、鹿児島県のほぼ中央に位置する県都であり、市内の主要な公共交通として、JR鹿児島本線他、鹿児島市交通局の運行する路面電車と、市交通局を含むバス事業者 5 者による路線バス、また、鹿児島市船舶部の運航する桜島フェリーがあり、これらうち路線バスと路面電車においては、従前より共通回数券(紙製)の発行など、事業者共同の取り組みがなされてきていた。
- 鹿児島市交通局では、乗客の利便性向上等のため、IC カード化に向けた検討を行っていたが、市交通局単独での導入ではメリットが少ないことなどから、鹿児島県バス協会内において共通カード化に向けた模索を行っていた。

活用メニュー(制度・協議会等)

【自動車事故防止対策補助】

- 平成 16 年度に国の「自動車事故対策費補助金制度」(バス利用促進等総合対策事業)の活用により、IC カードのシステム開発、車載器の設置がなされ、H17 年 4 月 1 日より IC カード共通乗車券システムの運用が始まった。ただし、路面電車については国の補助はなされていない。

■ 実現したサービス

サービス内容

【乗継運賃】【カードシステム】

- IC カード化の目的は以下の通りである。
 - ①従来の紙製共通回数券や定期券と比べ簡素化、迅速化を実現することにより乗客の利便性向上を図る。
 - ②乗車実態の把握により効率的な運行体制を構築し、市電・市バスの利用促進につなげる。
 - ③紙製共通回数券の相互精算や集計業務の軽減、不正乗車の防止など業務の効率化と適正運賃の収受を図る。
- 対象地域は、種子島・屋久島を含む鹿児島県本土及び宮崎県・熊本県の一部であり、IC カードの種類・名称は 2 種類あり、それぞれ発行主体は以下の通りである。
 - ①Rapica(ラピカ):鹿児島市交通局、南国交通、JR 九州バス
 - ②いわさき IC カード:鹿児島交通、いわさきバスネットワーク
- IC カード共通乗車券の利用できる交通機関は、各社路線バス、市電、一部フェリー等旅客船(ラピカは平成 19 年 4 月より桜島フェリーで利用可能となった、いわさき IC カードは高速船トッピーで利用可)である。
- 主なサービス内容としては(②、③は「ラピカ」のみ)、
 - ①発売・積み増し時のプレミア:発売時及び積み増し時に 1 割のプレミアが付加される。
 - ②IC カード導入に伴う新たなサービスとして、乗継割引(バスとバスの場合は 5%割引、市バスと市電の場合は 40 円(小児 20 円)を割引。ただし、同一事業者の場合に限る。
 - ③利用運賃額の 1%がポイントとして積み増し時に付加される。

技術

【カードシステム】

- Rapica(ラピカ)、いわさき IC カードは、ともに IC カードの基本仕様(Sony の Felica)は同じである。

■ 効果と負担

効果

【利便性向上】

- IC カード化により乗継割引や乗車ポイント付与などの新たなサービスが可能となり、利用者の利便性向上が図られている他、鹿児島市交通局の市バス・市電における収入額に占める回数券・定期券（紙製からICカード化した券種）の割合が増加しており、ICカードの普及拡大が見られる。
- また、紙製回数券の発売中止により、精算に係る人件費や販売委託店手数料などの経費節減が図られた。

表. 収入額に占める
回数券・定期券の割合

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
市電 + 市バス	46.6%	52.7%	57.8%
市電	37.0%	42.7%	46.8%
市バス	54.5%	60.8%	66.4%

出典：鹿児島市交通局資料

負担

【市町村負担】【都道府県負担】【国負担】

- 鹿児島市交通局におけるICカード導入費用は、車載機器、ソフト開発等に計2億1,800万円（うち、バス1億3,900万円、市電7,900万円）で、このうちバスに対して国・県・市から3,299万円の補助。

■ プロセスと調整

鹿児島県バス協会内での検討委員会設置

【プロセス：体制構築】

- 平成 13 年度に鹿児島市交通局内で課長以下のプロジェクトチームが設置され内部検討が進められるとともに、平成 13 年 12 月には鹿児島県バス協会の中に「IC バスカード検討委員会」が設置され、県内バス事業者による検討が開始された。その結果、平成 15 年 6 月には、同バス協会総会において、5 事業者共同による平成 17 年度一斉導入の方針が決定された。
- その後、平成 16 年 3 月にはICカード乗車券システムの基本仕様が決定され、平成 16 年度中に詳細仕様の検討とシステム開発、車載機器の製造・取付、平成 17 年 4 月 1 日より運用開始された。

事業者間の調整

【調整：対交通事業者】

- 鹿児島市交通局を含むバス事業者5者は、IC カード化以前から紙製の共通回数券を発行しており、共通化の素地はあった。このため、IC カード化についてもバス協会という事業者主体の取組として検討がなされた。
- しかしながら、平成 14 年当時の検討委員会の中では、平成 16 年度からの実施を目指すとともに、5 事業者の共同の発行を目指していたが、最終的には実施時期としては約1年遅れとなり、また、IC カードの一本化についても詳細仕様検討の段階で2種類に分かれた。

■ 創意工夫・知見・教訓

鹿児島市交通局オリジナルトレーディングカード「ラピトレカ」

【創意工夫：サービスの工夫】

- 鹿児島市交通局のオリジナルトレーディングカード「ラピトレカ」は、かごしま共通乗車カード「ラピカ」に1,000円分の積み増しができる積増券であるだけでなく、トレカとしての収集対象にもなる。平成 18 年 11 月 1 日に“2006 現役電車シリーズ”6 種類が初めて発売されている。

電子マネーとの共通化の困難性

【教訓：住民・利用者理解の必要性】

- 利用者等から、電子マネーとの共通化はできないのかとの声もあるが、交通カードとして導入した「かごしま共通乗車カード（ラピカ、いわさきICカード）」において、商業施設での利用を可能とする電子マネーとの共通化を実現するためには、現システムのプログラムだけでなくカード自体の変更も必要となり、そのために多大な経費がかかるなどの課題があること等について、利用者等の理解を得る必要がある。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：鹿児島市交通局総合企画課 電話 099-257-2111

参考 URL：<http://www.city.kagoshima.lg.jp/koutuu.nsf>

■ 資料編

バスも電車もらくらくピッ!

かごしま共通乗車カード

ラピカ

Rapica

Ride and Pay Intelligent Card

(「ラピカ」は鹿児島市交通局、南国交通、JR九州バス3社の乗車カードの愛称です)

平成17年
4月1日
スタート!

3月22日(火)
発売開始

乗る時

ピッ!

降りる時

ピッ!

軽くワンタッチ!

「Rapica」は、カードリーダーに触れるだけで精算(運賃差引)ができます。

今までの紙製回数券がICカードに変わります。

★整理券は必要ありません。★バスケースに入れたままでもOK!

ICカードの導入にあわせて紙製回数券の販売は終了します。

Rapica(かごしま共通乗車カード)は、鹿児島市交通局・南国交通・JR九州バスの共通乗車カードとしてご利用いただけます。また、いわさきコーポレーション・林田バスでもご利用できますが、サービス内容が一部異なりますのでご注意ください。

図.「かごしま共通乗車カード ラピカ」パンフレット(表紙)

出典: 鹿児島市交通局資料

資料編

新発売!

2006現役電車シリーズ
6種類初版

鹿児島市交通局オリジナルトレーディングカード
Kagoshima City Transportation Bureau Trade Card

交通局オリジナルトレカは、トレカ標準サイズで収集用アルバムにもピッタリ！今回の2006 現役電車シリーズのうち、特に最古参の500形カードは、今後マニアの間では、プレミア価値が上がる可能性？もあります。

2006.11.1
交通局各発売所で
発売開始！

今後のシリーズ化の予定
現役バスシリーズ
懐かしの市電・市バスシリーズ
新型車導入記念シリーズ

交通局オリジナルトレカは、かごしま共通乗車カードの「ラビカ」と「敬老バス」に1000円分の積増ができる積増券でもあります。トレカとしての収集対象だけでなく、入学、卒業、就職などのお祝い用贈答品としても手軽で最適です！

ラビトレカの券面に会社名や広告などのロゴ印刷も可能です。
費用別途

1枚1,000円(税込)

鹿児島市交通局オリジナルグッズの通信販売による購入のお申込は
鹿児島市交通局ホームページからのメール
又は電話、F a x 等でお知らせください。
詳細は下記まで

**その他の
鹿児島市交通局
オリジナルグッズ販売**

かごしまの街中散策におすすめのルートマップの★印をクリックするだけで鹿児島市内の観光地・文化施設等を写真入りで紹介しています。

鹿児島では珍しい雪の桜島をバックに走る電車と城山を走るカゴシマシティビューの2種類のパズルを準備。

電車の動くしくみ、曲がるしくみ、止まるしくみや超低床電車ユニットの運転席の様子をわかりやすく図解入りで説明。

**鹿児島市の観光の思い出に
かごしま市交通局CDカードを
どうぞ！(名刺サイズ)。**

**KAGOSHIMA
かごしま市交通局
CDカード
500円(税込)**

パソコン用

このほかにも鹿児島市交通局が保有する各電車やノンストップバス等を写真入りで紹介するコンテンツや、鹿児島市交通局の簡単な歴史がわかるコンテンツなどを取り揃えています。
鹿児島市交通局 TEL : 099-257-2111

鹿児島市交通局ホームページ <http://www.kagoshima.lg.jp/koutuu.nsf> Fax 099-258-6741
詳細は鹿児島市交通局営業係までお問い合わせください。

図. 鹿児島市交通局オリジナルトレーディングカード「ラビトレカ」チラシ

出典: 鹿児島市交通局資料